学道一如

発行
小樽双葉高校
新聞部
2026年9月28日
第34号

野球部支部秋季大会
決勝で北照に敗れる

野球の秋季大会支部予選会で本校は1回戦、小樽水産に8-1（7回コールド）で勝利し、準決勝で倶知安に13-3（6回コールド）で勝利し、決勝戦に進んだ。決勝戦は北照と対戦し、0-10で敗れた。

試合前に輪になって礼拝する

主将の鹿嶋くんに振り返ってもらった。「初戦の水産戦は新チーム初の公式戦で入りは緊張したが、徐々にほぐれてきた。準決勝の倶知安戦は雰囲気よく入れて、その流れにのり、勝利できた。決勝の北照戦はミスからの失点があったのが悔やまれる。ノーヒットノーランの試合となり、全体的にレベルアップが必要、基礎から底上げしたい。」

→遠藤煌生くん

及川哲平くん←

▼９月20日　小樽支部大会１回戦（小樽）

	1	2	3	4	5	6	7	計
小樽双葉	0	3	0	1	4	0	0	8
小樽水産	1	0	0	0	0	0	0	1

投手-捕手　遠藤・宮崎（5回）・前田（6回）打矢（7回）－ 及川
３塁打　三浦（4回）
７回コールド

▼９月22日　小樽支部大会準決勝（小樽）

	1	2	3	4	5	6	計
倶知安	0	1	0	2	0	0	3
小樽双葉	2	0	1	7	1	2×	13

投手-捕手　遠藤・打矢（6回）－ 及川
３塁打　打矢（4回）・三浦（4回）
２塁打　及川（3回）・山下（6回）
６回コールド

▼９月23日　小樽支部大会決勝（小樽）

	1	2	3	4	5	6	計
小樽双葉	0	0	0	0	0	0	0
北　照	2	2	1	2	0	3×	10

投手-捕手　宮崎・遠藤（2回）打矢（4回）－ 及川
６回コールド　北照　寺川6回参考ノーヒットノーラン

打順	氏名	守備
1	三浦浩成	センター
2	鹿嶋篤己	サード
3	赤坂一耀	レフト
4	大日方瑛滋	ファースト
5	及川哲平	キャッチャー
6	波木皇介	ライト
7	打矢　快	ショート
8	千葉音也	ＤＨ
9	山下智嗣	セカンド

投打で活躍打矢くん

3年野球部を中心に声をからして応援

バレー部　選手権小樽地区優勝

９月26日、バレーボール選手権大会小樽地区予選会が開催され、本校は小樽潮陵、小樽桜陽、小樽未来創造をストレートで破り、全道に進出する。

全試合2-0で勝利したが、主将の池田唯莉さんは次のように振り返った。「未来創造はすごくよかったが、桜陽戦の2セット目と潮陵戦はサーブミス、スパイクミスがあったので、雰囲気良く試合展開できるように修正したい。」コンビバレーを持ち味とするバレー部は11月2日からの全道大会（キタエール）でベスト8を目指す。

スタメン

池田唯莉　(3-3)
長田倖奈　(3-3)
鈴木夢華　(3-3)
鈴木帆華　(3-4)
庄野悠月　(3-4)
川原菜月　(3-4)
雪田実亜　(1-4)

弓道部　小樽市民スポーツ大会　寺田らんさん3位
高体連支部新人戦　茂木詩瑛那さん5位、全道へ

９月13日、小樽市民スポーツ大会弓道大会が開催され、個人女子で寺田らんさん（2-4）が3位に入賞した。予選6射3中、決勝2射1中（3人で射貫き）だった。「新人戦では団体でも全道に行きたい」と語っていた。

９月20日の高体連支部予選では個人女子で茂木詩瑛那さん（2-1）が5位に入賞し、全道大会へ進む。予選は8射4中、決勝は射詰と遠近で審査された。全道大会は10月5日から函館で行われる。

吹奏楽部 第59回定期演奏会
ホールに溢れる感動と涙

９月21日、小樽市民会館大ホールで吹奏楽部の第59回定期演奏会が開催された。約六百名の来場者があり、B編成金賞の実力を誇る本格的な演奏に惜しみない拍手を送った。また、２部のポピュラーステージでは軽快なリズムに合わせて手拍子が鳴り、ダンスやソロ演奏などの楽しい演出に笑顔が溢れた。３年生10名にとっては、高文連全道大会を残すだけとなり、お別れの演奏となった。

プログラム
第１部　シンフォニックステージ
　楽劇「ニュルンベルクのマイスタージンガー」より
　第１幕への前奏曲
　2026年度全日本吹奏楽コンクール課題曲Ⅱ
　ザ・ガーズ
　たなばた
　2026年度全日本吹奏楽コンクール課題曲Ⅰ
　夕映えの丘
　三つのジャポニズム　コンポーザーズ・エディション
第２部　ポピュラーステージ
　「スター・ウォーズ」よりコンサート・セレクション
　学園天国
　ジャパニーズグラフィティⅦ　美空ひばりメドレー
　ようかい体操第一
　ディズニー・プリンセス・メドレー
　交響組曲「シネマ・トリロジー」
　スタジオ・ジブリコレクション第３楽章「Song-Finale」

寂しさと感動と

友永侑奈さん（3-1、ホルン）

多くの来場者を前に準備してきたことを発揮できてすごく良かったと思います。コンクール曲を演奏する機会がなくなると思うと寂しさがありますが、感動も覚えました。

最後の演奏会で最高の演奏

川越未遥さん（3-2、アルトサックス）

最後の演奏会なので気持ちが入っていて、良い演奏ができたと思います。１、２年生の協力もあり、３年生の大好きな仲間と最高の演奏ができました。また、恩師の水澤先生と共に良い演奏会ができて良かったと思います。支えてくださった方々に感謝しています。

感動を届けられてよかった

齊田澪さん（3-2、アルトサックス）

３年間やってきて、もう最後という思い、でもぎりぎりまで忙しく上手くいかないこともありましたが、最終的に感動を届けられてよかったです。

一番楽しい演奏会に

野村瑠璃さん（3-2、クラリネット）

多くのお客様にご来場いただき、自分自身一番楽しい演奏会になりました。印象に残っているのは「たなばた」とコンクール曲（三つのジャポニズム）です。「シネマ・トリロジー」ではピアノ演奏を披露したことも思い出です。

３年生10名で記念写真

司会で活躍

玉井咲さん（3-3、テナーサックス）

２部の司会を土谷さんと盛り上げたのが楽しかったです。（右写真）

演出に達成感

土谷心絆さん（3-3、ホルン）

演出や照明を考える役割で、観客からの反応がすごくあって達成感がありました。二部の「世界の約束」で手話を披露できたことも思い出になりました。

部長のメッセージに涙

中村雪乃さん（3-3，フルート）

部長のメッセージが心に響きました。感極まり泣きそうになりました。印象に残っているのはコンクール曲です。アンケートでも票が多かったです。

みんなが感動できる演奏会に

坂本実咲さん（3-4、ユーフォニアム）

本番まで上手くいかないことも多かったのですが、本番は部員も水澤先生も観客の皆さんもみんな感動できる演奏になり良かったと思います。思い出に残っているのはディズニー・プリンセス・メドレーとアンコール曲の「糸」です。

感動と涙のフィナーレ

佐藤芽里さん（3-4，フルート）

顧問の水澤先生も泣いていました。印象に残っているのは一部の「夕映えの丘」とアンコール曲の「糸」です。

親も納得の演奏

中村優菜さん（3-4、トランペット）

３年間やってきて、振り返るとあっという間でした。練習は大変でした。今回、一番良い演奏を観客に届けられて良かったと思います。親から好評だったのは「ジャパニーズ・グラフィティⅦ」とコンクール曲。一部の「たなばた」はさすが金賞の実力と言ってもらえました。（右写真）

観客も泣いていた

演奏会を聴いていた奈良衣麻里さんは「高校生とは思えないレベルで鳥肌がたちました」、多々見希歩さんは「観客も泣いていました」と語っていた。